

令和7年度指定管理者制度導入施設管理運営に関する評価結果概要

1 評価方法

指定管理者の積極的な取り組みと業務改善を促し、市民サービスの向上、指定管理施設の目的に沿った運営の適切性及び効率性の確保をするため、毎年度評価を実施している。

下記のとおり評価項目を6つに明確化するとともに、特に目標値（利用者数等）の達成状況を重視した評価とし、最終的な総合評価をS、AA、A、B、C、Dの6段階評価とした。

※施設の特異性等の理由から、評価項目が不足する「森合運動公園多目的広場」については、AA～Dにより評価を行っている。

《評価項目》

- (1) 施設の管理状況
- (2) 目標値の達成状況
- (3) サービスの実施状況
- (4) アンケート調査等の実施状況
- (5) 自主事業の実施および利用者増加のための取組状況
- (6) 特筆すべき取り組み状況

2 総合評価結果

			(参考 R6)
S : 非常に良い	3件 (4%)	4件 (5%)	
AA : 良い	1件 (1%)	1件 (1%)	
A : 良い	26件 (33%)	41件 (52%)	
B : 標準である	20件 (25%)	12件 (15%)	
C : 努力が必要である	30件 (37%)	20件 (26%)	
D : 改善が必要である	0件 (0%)	1件 (1%)	
合計	80件	合計79件	

※新たに「市営住宅等」が指定管理制度を導入したため、1件増加となっている。

※施設数は全85施設であるが、

「UFOふれあい館・UFO物産館・千貫森庭球場」→まとめて評価

「鯖湖湯・導専の湯・仙気の湯・波来湯」→まとめて評価のため評価対象外。

以上により合計80施設

3 総合評価結果考察

ほとんどの施設が安定した運営がなされている。しかし、昨年度と比較してA評価が減少し、C評価が増加している。C評価となった理由は1施設を除き、目標値の未達成によるものだが、クマの目撃情報や夏の猛暑、臨時休館等が大きく影響していると考えられる。

C評価以下や昨年度と比較して2ランク以上評価が下がった施設においては、指定管理者と原因や対策を共有し、課題を解決するための取り組みをお願いしたい。

今後も適切な施設運営や広報のさらなる充実に努めるとともに、新たな利用者の確保や新たなサービスによる施設のイメージアップに期待する。

所管部	No.	施設名	指定管理者名	項 目 評 価										総合評価および施設所管課講評		参考
				評価項目	（１）施設の管理状況			左記①②③が全て「○」の場合 ⇒A それ以外の場合 ⇒C	（２）目標値の達成状況	（３）サービスの実施状況	（４）アンケート調査等の実施状況	（５）自主事業の実施および利用者増加のための取組状況	（６）特筆すべき取り組み状況	すべての場合かつ（６）実施⇒S Aが３つ以上（（２）を含む）でCがない場合かつ（６）実施⇒A Aが３つ以上（（２）を含む）でCがない場合⇒A 全てB以上で上記以外のもの⇒B Cが１つある場合⇒C Cが２つ以上ある場合または重大な過失があった場合⇒D ※特筆すべき取り組みの実施により総合評価A～Cは、総合評価を１段階引き上げ可とする。 ただし、以下の場合は除く。 ア 評価項目（１）がC評価である場合 イ その他、総合評価を引き上げることが適当でないと思われる場合		
					【 ○：適正であった ×：適正でなかった 】											
					①事業実施・維持管理状況	②職員体制	③法令等の遵守									
				ア：協定書、仕様書等に沿った事業を適正に行ったか。	ア：計画通り人員を配置したか。 イ：業務に関するスキルを有する職員を配置したか。	ア：施設設置条例、個人情報保護条例等、関係法令を遵守したか。 イ：市への報告は適時、適切に行ったか。		A：目標を大きく達成した（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の+5％を超える場合） B：目標を概ね達成した（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％～+5％の場合） C：目標を達成できなかった（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％を下回る場合）		ア：利用者からの意見、苦情等に適切に対応したか。（施設ハード面に対するものは除く。） イ：利用者の満足度を、アンケート調査等により把握できたか。（施設ハード面に対するものは除く。）	ア：自主事業を積極的に実施することで、利用者の増加に努めたか。 イ：広報活動等により、利用者の増加に努めたか。	【特筆すべき取り組みの対象事例】 ①市民サービス向上の取り組み ②運営方法の工夫 ③地域貢献 ④共創の取り組み				
政策調整部	1	市民活動サポートセンター	特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター		○	○	○	A	A	B	A	A	○	AA	多くの項目において優れた評価であった。施設の管理においては、「利用者の声」ボードの設置や、会議室予約に関する聞き取り調査の実施など、利用者目線での満足度向上に向けた積極的な取り組みが見られた。また、自主事業においては、若者や親子向け講座の実施や新たな媒体を活用した広報強化などにより新規利用者を獲得し、前年比で大幅な利用者増を達成した。今回の実績を強みに、今後は単なる利用促進に留まらず、市民活動に対する関心を高め、新たな担い手の育成へと発展させていくことを期待する。	A
商工観光部	2	サンライフ福島	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	A	B	B	B	—	B	利用者満足度向上のために、利用者の要望に対応した事業の実施や効果的な施設の活用方法を検討したことなどで、利用者目線の運営に努めていたと認められる。また、ボクシングエクササイズ教室などの新規事業を開催し、利用者層の偏り改善、新規利用者の創出にも積極的に取り組んでいた。今後も利用者の意見を事業や施設の利活用に取り入れ、今までにない工夫を図った運営によって、利用者満足度の更なる向上や新規利用者数の大幅な増加に努めていたきたい。	B
	3	キョウワグループ・テルサホール（福島テルサ）	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	B	B	A	B	—	B	様々なジャンルの自主事業を実施し、利用者の文化振興に寄与していた。さらに地元高校生の活動を地域社会に広め、文化教育と地域連携を同時に図るという観点に大きな価値があると感じた。通近2年度において、利用人数の目標値に届いていない状況である。次年度以降、30周年記念事業やテナントとの連携事業の実施により、利用人数の目標値達成を期待する。また、当初計画していなかった修繕工事等により施設の貸出を中止するなど臨機応変に対応していただいた。今後も利用者の安全確保を最優先に当該と指定管理者で連携を密に図りたい。	B
	4	アクティブシニアセンター	(株)福島まちづくりセンター		○	○	○	A	A	A	A	A	○	S	利用者数及び講座数が前年度を上回るなど、利用促進に向けた取組の成果が見られるほか、収支状況についても改善が図られている点について評価できる。施設の適切な維持管理及び法令遵守に努めるとともに、利用者の安全確保やサービス向上に取り組む、安定した施設運営が行われている。また、アオウゼ開館15周年を記念した多様な自主事業や効果的な広報活動を通じて、幅広い世代の利用促進につなげている点は評価できる。加えて、利用者アンケートや直接的な意見聴取を通じてニーズ把握に努め、施設運営へ反映している点も評価できる。今後は、施設1・2階のリニューアルによる新たな環境を活かし、引き続き施設維持コストの削減を意識しながら、さらなるサービス向上及び利用者数増加に向けた取組を期待する。	S
	5	産業交流プラザシアオフィス等	(株)プラザ		○	○	○	A	A	B	B	B	—	B	丁寧な清掃による高水準な環境維持や、他施設の視察・連携を通じたスタッフの資質向上は、利用者の高い満足度に結びついている。また、積極的な広報活動により利用者の増加を図り、目標を大きく達成しており高く評価できる。一方で、同アンケートの回収率が8.5%に留まっているため、回収率を向上し、より利用者の声を取り入れながら、今後はさらなる発展に向けた積極的な自主事業の企画・展開により、施設の魅力向上の寄与に期待したい。	B
	6	浄土平天文台	有限責任事業組合 浄土平倶楽部		○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	冬季間の閉鎖、曇天時の観望会の中止など気象状況に事業が左右されやすい環境であるにも関わらず、趣向を凝らした事業の実施を行っている点や、利用者トラブルが少ない点が大変評価できる。R7に実施した改修により展望テラスが使用できるようになったため、観望会に利用していただくほか、物販ブースを活用した天文関係の商品の販売や、天文説明会等でのイベントブースとしての活用を検討していただきたい。	A
	7	飯坂温泉観光会館	福島市観光開発(株)		○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	利用者に対する高品質なサービス提供ならびに積極的な自主事業・主催事業の開催、広報活動の徹底など、施設の知名度と顧客満足度向上に貢献する事業を積極的に実施しており、施設の運営ならびに飯坂地区の活性化に多大な影響を与えている。近年における利用者の増加には、県文化センターの休業に伴う顧客増も含まれると思われるが、利用者満足度が高ければリーダーとして定着する可能性も高いため、引き続き取り組んでいただきたい。	A
	8	鯖湖湯	福島市観光開発(株)	○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	適正な施設管理ならびにトラブル発生時の報告は重要であり、R7は施設利用者からの情報提供をもとに窃盗犯の逮捕につなげることもできた。迅速な対応は利用者満足度に影響するため、継続していただきたい。また、動画作成およびSNSによる発信は、スマートフォンが普及した現在において広報活動として有効であるため、料金改定等により減少した利用客数を増加させるためにも、積極的な活用を希望する。なお、施設モニター実施の際、温泉の効能についてPRしてほしいとの意見があったため検討いただきたい。	B	
	9	導専の湯														
	10	仙気の湯														
	11	波来湯														
	12	旧堀切邸	福島市観光開発(株)		○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	親子で参加できる自主事業等の実施ならびに積極的な広報活動により利用者数・収支が大きく増加している点など、飯坂地区における有名観光施設としての取り組みが大変評価できる。また、苦情に対する迅速な対応、問題発生時の報告・通報など、安全安心な施設運営にかかる取り組みも指定管理者として優秀な対応方法であり、今後の運営においても継続して実施していただきたい。	A
13	UFOふれあい館	UFOの里いいの(株)	○	○	×	C	A	A	A	A	—	C	地域貢献及び施設の知名度向上に向け積極的に取り組んでおり、大変評価できる。しかしながら、緊急時の対応として、臨時休業の情報共有の遅滞ならびに団体予約の失念は、職員の連携・確認不足によるものであり、今後同様の事業が発生しないように改善が必要である。引き続き利用者の快適な施設利用に努めていただきたい。	A		
14	UFO物産館															
15	千貴森庭球場															

所管部	No.	施設名	指定管理者名	項 目 評 価										総合評価および施設所管課講評		参考												
				評価項目	(1) 施設の管理状況 [○：適正であった ×：適正でなかった]			(2) 目標値の達成状況	(3) サービスの実施状況	(4) アンケート調査等の実施状況	(5) 自主事業の実施および利用者増加のための取組状況	(6) 特筆すべき取組状況	すべてAの場合かつ(6)実施⇒S Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合かつ(6)実施⇒A Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合⇒A Aが3つ以上で上記以外のもの⇒B Cが1つある場合⇒C Cが2つ以上ある場合または重大な過失があった場合⇒D ※特筆すべき取り組みの実施により総合評価A～Cは、総合評価を1段階引き上げ可とする。 ただし、以下の場合は除く。 ア 評価項目(1)がC評価である場合 イ その他、総合評価を引き上げることが適当でないと思われる場合	R 6														
					①事業実施・維持管理状況	②職員体制	③法令等の遵守																					
				評価基準	ア：協定書、仕様書等に沿った事業を適正に行ったか。 イ：利用者が安全、快適に施設を利用できるよう適正に日常保守、清掃等を行ったか。			ア：計画通り人員を配置したか。 イ：業務に関するスキルを有する職員を配置したか。 ウ：職員の資質、能力向上を図る取組みを行ったか。 エ：職員に対し適正な労働環境を保持していたか。			ア：施設設置条例、個人情報保護条例等、関係法令を遵守したか。 イ：市への報告は適時、適切に行ったか。			左記①②③が全て「○」の場合 ⇒A それ以外の場合 ⇒C			A：目標を大きく達成した(目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の+5%を超える場合) B：目標を概ね達成した(目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3%～+5%の場合) C：目標を達成できなかった(目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3%を下回る場合)			A：利用者からの意見、苦情等に適切に対応したか。(施設ハード面に対するものは除く。) イ：利用者の満足度を、アンケート調査等により把握できたか。(施設ハード面に対するものは除く。)			ア：自主事業を積極的に実施することで、利用者の増加に努めたか。 イ：広報活動等により、利用者の増加に努めたか。			【特筆すべき取り組みの対象事例】 ①市民サービス向上の取り組み ②運営方法の工夫 ③地域貢献 ④共創の取り組み		
商工観光部	16	働く婦人の家	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	A	B	A	B	—	A	利用者の満足度の向上のため、積極的な事業の展開や利用環境の整備をしていたと認められる。 共催・協力事業では子育て支援や地域支援事業を定期開催し、地域や利用者により添った講座を積極的に開催している。 今後も利用者が安全、快適に施設を利用できるようにしつつ、今までにない工夫を図った運営によって、利用者満足度の更なる向上や新規利用者数の大幅な増加に努めていただきたい。	A												
	17	勤労青少年ホーム	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	C	B	A	B	—	C	直流電源装置更新工事等のため施設を休館したことや、音楽堂イベントにおける附属会場としての会場利用が減少したことが主な原因と思われる。 当施設は音楽堂に隣接することから、音楽堂の催しの規模に影響されやすい。加えて、労働施設対象者のみの利用人数だけを見ると、R6年度よりも増加しており、利用件数についてもコロナ禍以降増加傾向にある。これにより積極的な事業展開や環境整備が認められる。 今後は、音楽堂に依存しない工夫を図った運営によって、新規利用者の創出に努めていただきたい。	B												
	18	中之湯	(株)元気アップつちゆ		○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	日常の施設管理業務や積極的なPR活動・キャンペーンの実施により利用者の満足度が高く、快適な施設運営が継続できている点が評価できる。 指定管理者の努力により年間利用者数も増加傾向にあるため、関連商品の販売・キャッシュレス対応券売機の導入など、利用者満足度に影響する取り組みの周知、実施について取り組んでいただきたい。	A												
	19	道の駅ふくしま	(株)ファーマーズ・フォレスト		○	○	○	A	A	A	A	A	○	S	令和7年度は、まさに「変革の年」であり、利用者満足度向上に向け改善する姿が多く見られた。 特に、これまで毎年繁忙期に苦情として頻発していた「レジ行列」に関しては、キャッシュレス決済及びセルフレジを導入することで行列を解消し、利用者満足度の向上を実現した。 そのほか「フードコート」や「あづまキッチン」のメニューを見直し、「ふくしまブルブル」や「いかにんじんコロッケ」の提供、福島市内でも人気を誇る「笑夢カレー」のテナント導入など、福島市の地域振興にも寄与するようなランナップへと刷新された。 総じて、地域振興施設としての責任を果たそうとする運営をしており、非常に高く評価できる。	S												
	20	職業訓練技能センター	職業訓練法人 福島職業訓練技能協会		○	○	○	A	C	A	B	B	—	C	施設の管理状況は適正に行われ、技能照査の受験者の全員合格など本来の目的の達成について評価できるものだった。また、立子山地区での交流活動などに継続的に取り組み、地域活性化に貢献し広く訓練校の活動を知ってもらう機会となった。 目標値の達成状況では、週休2日を確保するため長期講習の授業数の見直しを実施した。令和7年度は、訓練生が2名増加したものの、授業数の削減により利用者数が減少したため目標値を下回った。この影響は令和8年度以降も継続する見込みである。 カリキュラム見直しにあたっては、必要な技能・知識習得をする講習内容を維持しつつ、日数を削減するという工夫が見られた。引き続き技術の継承に努めてもらいたい。	A												
	21	東部勤労者研修センター	福島工業団地立地企業 連絡協議会		○	○	○	A	C	B	A	B	—	C	安心安全、快適な施設管理と貸館業務に取り組んだものの、利用件数は伸びなかった。施設稼働率は向上していることから、1回あたりの利用時間が長くなっていることが要因としてあげられる。 日中と比べて夜間の利用が少ないことから、今後においては、新たな利用者獲得に向けた施設PRや、利用者ニーズの更なる把握に努め、指定管理業務の質の向上と利用者満足度を一層高める取り組みを期待する。	C												
	22	西部勤労者研修センター	福島西部地区立地企業 連絡協議会		○	○	○	A	B	A	A	B	—	B	安心安全、快適な施設管理と貸館業務に取り組む、利用件数の目標値も達成できたことは評価できる。 今後においても、利用促進に向けたPRや利用者ニーズの更なる把握に努め、指定管理業務の質の向上と市民満足度を一層高める取り組みを期待する。	A												
	23	産業交流プラザ(会議室等)	(公財)福島県産業振興 センター		○	○	○	A	C	A	A	A	—	C	利用者アンケートの結果からも、指定管理者の適切な管理をうかがうことができ、高く評価される。 目標値を達成することはできなかったものの、指定管理者の取り組みや丁寧な対応が新規利用者やリピーターの増加に現れてきているものと評価する。また、R7年度は絵画展をはじめとした大規模なイベントを開催されたほか、大会等誘致を積極的に行っており、利用者増に向けた取り組みについて高く評価できる。 R7は、施設の大規模工事やコロナ禍以降の会議形態の変化等による規模縮小等複合的な要因等により目標値達成に至らなかった。また、コロナ禍以降は目標値未達が続いており、次年度以降の目標値について、協議が必要であると考える。	B												
24	あったか湯	高湯温泉旅館協同組合		○	○	○	A	B	A	A	A	—	B	R7.2から実施した利用料金値上げの影響により、前年度比では利用者数の低下がみられたものの、積極的な情報発信や適切な管理運営の努力とこれまで培った施設のブランド力を活かし、依然として市外及び県外からの利用者数を高水準で維持した。 結果、目標値を上回る利用者数を確保しながら過去最高となる利用収入を実現しており、施設運営状況は大いに評価できるものである。 目標値の達成状況については、利用料の値上げというこれまで例のない取組みの最中に設定した目標値であるにもかかわらず、これを上回る達成状況となっており評価に値する。	A													
25	土湯温泉まちおこしセンター	特定非営利活動法人 土湯温泉観光協会		○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	土湯温泉町地区の観光案内所としての機能を十分に発揮し、本施設のほか公衆浴場ならびに飲食店等を含む回遊性の向上に貢献している点が評価できる。 また、2階ラーメン店が好評であり、施設の利用者数が増加傾向にある点もよい。利用者数の増加を継続するためにも、施設の有する機能(観光案内所、飲食宿泊テナント、会議室としての利用)の周知を積極的に行っていたきたい。	A													
26	土湯温泉観光交流センター	特定非営利活動法人 土湯温泉観光協会		○	○	○	A	B	A	A	A	—	B	施設の適正な維持管理による利用者満足度向上、広報活動および自主事業の積極的な実施等の取り組みは評価できるが、利用者数が4,000人超減少する結果となった。 湯楽座・道の駅ほか公共施設等にて本施設の利用を促進する広報活動を実施するなど、より一層の努力を期待する。	A													

所管部	No.	施設名	指定管理者名	項 目 評 価									総合評価および施設所管課講評			参考
				評価項目	（１）施設の管理状況　【　○：適正であった　×：適正でなかった　】			(2) 目標値の達成状況	(3) サービスの実施状況	(4) アンケート調査等の実施状況	(5) 自主事業の実施および利用者増加のための取組状況	(6) 特筆すべき取り組み状況	すべてAの場合かつ(6)実施⇒S Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合かつ(6)実施⇒A Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合⇒A 全てB以上で上記以外のもの⇒B Cが1つある場合⇒C Cが2つ以上ある場合または重大な過失があった場合⇒D ※特筆すべき取り組みの実施により総合評価A～Cは、総合評価を1段階引き上げ可とする。 ただし、以下の場合は除く。 ア 評価項目(1)がC評価である場合 イ その他、総合評価を引き上げることが適当でないと思われる場合			
					①事業実施・維持管理状況	②職員体制	③法令等の遵守									
評価基準				ア：協定書、仕様書等に沿った事業を適正に行ったか。	ア：計画通り人員を配置したか。	ア：施設設置条例、個人情報保護条例等、関係法令を遵守したか。	左記①②③が全て「○」の場合 ⇒A それ以外の場合 ⇒C	A：目標を大きく達成した（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の+5％を超える場合） B：目標を概ね達成した（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％～+5％の場合） C：目標を達成できなかった（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％を下回る場合）	ア：利用者からの意見、苦情等に適切に対応したか。（施設ハード面に対するものは除く。）	ア：自主事業を積極的に実施することで、利用者の増加に努めたか。	【特筆すべき取り組みの対象事例】 ①市民サービス向上の取り組み ②運営方法の工夫 ③地域貢献 ④共創の取り組み					
農政部	27	つちゆロードパーク	特定非営利活動法人土湯温泉観光協会		○	○	○	A	B	A	A	—	B	利用者が安全かつ快適に過ごせるよう施設改装、環境整備を継続的にしている点評価できる。 また、施設設備の更新やバリアフリー化、観光情報発信の強化など、利用環境の向上にも積極的に取り組んでいる。 来場者数については、目標値には達していないものの、新商品の開発や秋の収穫祭など自主事業を継続的に実施し、利用促進に努めている。 今後は、土湯温泉周辺地域の周遊拠点としての機能強化に加え、地域資源を活用した自主事業や情報発信のさらなる充実を図り、継続的な利用者増加につながる取り組みに期待したい。	B	
	28	四季の里	福島市観光開発(株)		○	○	○	A	B	A	A	—	B	近隣への熊出没による閉園や時短営業を実施せざるを得ない状況のなか、来園者の安全確保と満足度の向上を図り、安定した施設管理が実施できていた。 また、時短営業の影響により中止となった事業の代替イベントを開催するなどの対応により、来園目標者数を達成し、大きな成果を残した1年となった。	B	
	29	水林自然林	福島県北森林組合		○	○	○	A	C	B	B	—	C	モニター委員からは、クマ対策が困難な状況ではあるが、適正に管理運営がされており、子どもたちの貴重な自然体験の場として活用されているとの意見があった。 上半期においては、積極的な広報、自主事業の実施により目標値達成に向けて利用者数を増加させることができていた。しかしながら夏以降、周辺の熊の目撃情報が増え、団体のキャンセルやイベントの中止などによる利用者数減少が続いた。事前の対策により、林内での熊の出没は最小限に抑えられたものの、自然林であることから出没の可能性は否定できず、利用者の安全確保を優先に運営するしかない状況であった。	C	
	30	公設地方卸売市場	(一社)福島市公設地方卸売市場協会		○	○	○	A	C	A	A	—	C	市場の認知向上と県内産品の消費拡大に向け、新規、継続とともに自主事業を積極的にを行い市場のPRに努めていた。 インスタグラムへ積極的に投稿（イベント情報の発信等）するなど、若年層にも市場への関心を持ってもらえる取組みを積極的に実施していた。 施設利用人数の大半を占める市場まつりで評価が大きく変わるため、今後も天候等に応じ柔軟な対応に努めてほしい。 施設再整備の計画が進められる中で、現状との擦り合わせや今後生じる課題等についても市と協力しながら適切に対応していくことを期待する。	C	
	31	小鳥の森	NPO法人野鳥の会ふくしま		○	○	○	A	B	A	A	—	B	クマ出没の影響による一般来園者数の減少に対し、専門家の助言を受けた安全対策や大学准教授による学習機会の提供など、施設の安全・安心な利用環境の構築に取り組んでいる。 また、SNSを活用した積極的な広報活動を展開しており、利用者の増加に努めている。	S	
市民・文化スポーツ部	32	旧佐久間邸	(株)NEOソリューション		○	○	○	A	C	A	A	—	C	自主事業「夏祭り」は悪天候により参加者131名減(前年比)。自主事業「つるしびな展示会」は主催者都合で開催時期が前倒しとなったことで参加者615名減(前年比)。不可抗力により参加者計146名の減少となったが、令和7年度利用者数に不足しても目標値に届かないため、他の自主事業の内容を充実させるか民間団体への貸館を増やすなどの努力が必要である。 一方、施設利用が少ない12月の集客を課題とし、新規自主事業「クリスマスマーケット」の開催によって利用者数が大幅に増加したことは大いに評価できる。 また、施設利用者の安全のため、建築基準法第12条に基づく法定点検を実施した。	A	
	33	民家園	(公財)福島県都市公園・緑化協会		○	○	○	A	C	B	A	—	C	施設の適切な維持管理に加え、利用者サービスの向上の取組みが着実に実施されている。安全面への配慮を図りながら、施設資源を活用した事業展開を行うことで、施設の魅力向上と利用機会の創出につけている点は評価できる。 今後は施設本来の目的である「民俗文化の紹介」を強化していく等、更なる魅力づくりの向上に期待したい。 入園者数は目標値を大きく下回る結果となったが、令和7年8月の熊による人身被害の発生に伴う安全面への懸念や、記録的な猛暑等の気象条件が来園控えの要因となったものと考えられる。	C	
	34	草心苑	(株)福島人材派遣センター		○	○	○	A	A	A	B	—	A	利用者数は4,062人となり、目標値を上回るとともに前年度から142人増加した。自主事業では、茶道体験会やテーブル茶道体験会、お茶ワークショップなどを積極的に開催し、茶道未経験者を含む幅広い世代が日本伝統文化に接する機会を提供した。さらに、市民センター等での広報活動や利用者ニーズの把握にも継続して取り組み、施設の利用促進とサービス向上が図られていた。 今後も引き続き、知名度向上と新たな利用者の獲得につながるような企画及び広報活動に期待したい。	A	
	35	ふくしん夢の音楽堂（音楽堂）	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	A	A	A	—	A	協定書及び仕様書に基づき施設の適正な管理運営を行うとともに、利用者や来場者からの意見・要望を把握し、迅速な対応や改善に努めることで安全で快適な利用環境の確保を図った。 自主事業や共催事業では著名アーティストによる公演を積極的に実施し、新たなファン層の獲得と施設の認知度向上に努めたほか、LINE会員の導入などサービス向上にも取り組んだ。 さらに、福島県文化センターの工事休館に伴う利用需要の受け皿となることで利用者数は目標値を大きく上回っており、総じて、施設の設置目的に沿った良好な管理運営が行われたと評価する。	A	
	36	古閑裕而記念館	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	C	A	A	—	C	令和7年度は、協定書及び仕様書に基づき施設の維持管理を適正に実施するとともに、サロンコンサートや企画展など多様な自主事業を積極的に展開し、古閑裕而の功績や音楽文化の発信に努めた。職員による丁寧な案内や来館者に寄り添った接遇が実践され、利用者サービスの向上も図られている。 一方で、猛暑や積雪等の影響もあり入館者数は目標値を下回ったが、県外からの来館者も多く、広報活動や企画展の開催により施設の魅力発信に継続して取り組んだ点は評価できる。	A	

所管部	No.	施設名	指定管理者名	項 目 評 価										総合評価および施設所管課講評		参考				
				評価項目	(1) 施設の管理状況 [○：適正であった ×：適正でなかった]			(2) 目標値の達成状況	(3) サービスの実施状況	(4) アンケート調査等の実施状況	(5) 自主事業の実施および利用者増加のための取組状況	(6) 特筆すべき取り組み状況	すべてAの場合かつ(6)実施⇒S Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合かつ(6)実施⇒A Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合⇒A Aが3つ以上で上記以外のもの⇒B Cが1つある場合⇒C Cが2つ以上ある場合または重大な過失があった場合⇒D ※特筆すべき取り組みの実施により総合評価A～Cは、総合評価を1段階引き上げ可とする。 ただし、以下の場合は除く。 ア 評価項目(1)がC評価である場合 イ その他、総合評価を引き上げることが適当でないと思われる場合	R 6						
					①事業実施・維持管理状況	②職員体制									③法令等の遵守					
						ア：協定書、仕様書等に沿った事業を適正に行ったか。	ア：計画通り人員を配置したか。 イ：業務に関するスキルを有する職員を配置したか。									ア：施設設置条例、個人情報保護条例等、関係法令を遵守したか。 イ：市への報告は適時、適切に行ったか。				
				評価基準	イ：利用者が安全、快適に施設を利用できるよう適正に日常保守、清掃等を行ったか。			ウ：職員の資質、能力向上を図る取組みを行ったか。 エ：職員に対し適正な労働環境を保持していたか。	左記①②③が全て「○」の場合 ⇒A それ以外の場合 ⇒C		A：目標を大きく達成した(目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の+5%を超える場合) B：目標を概ね達成した(目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3%～+5%の場合) C：目標を達成できなかった(目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3%を下回る場合)		ア：利用者からの意見、苦情等に対応したか。(施設ハード面に対するものは除く。)		イ：利用者の満足度を、アンケート調査等により把握できたか。(施設ハード面に対するものは除く。)		ア：自主事業を積極的に実施することで、利用者の増加に努めたか。 イ：広報活動等により、利用者の増加に努めたか。		【特筆すべき取り組みの対象事例】 ①市民サービス向上の取り組み ②運営方法の工夫 ③地域貢献 ④共創の取り組み	
市民・文化スポーツ部	37	宮畑遺跡史跡公園	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	C	A	A	—	C	未就学児を含む親子で楽しめる企画、「どくコレ」開催による繰り返し利用の誘導、開園10周年を記念した常設展示の展示替え、SNSでの積極的な広報など、指定管理者の努力により県外からの利用者も多い。 また、オリジナルグッズの販売やボランティアのガイドも好評であり、施設としての魅力発信、利用者満足度の向上を図ることができた。 来館者数が目標値を大きく下回った要因としては、記録的な猛暑や長引く残暑により、全国的に外出を控える傾向が見られたことが影響したものと考えられる。		B				
	38	写真美術館	(公財)福島市振興公社		○	○	○	A	A	A	A	—	A	年間入館者数は26,391人となり、目標値を上回るとともに前年度実績も上回った。特に、夏の企画展「戦後80年 真継不二夫作品展『海軍兵学校』」では、有料企画展として過去最高の入場者数を記録するなど、市内外から多くの来館者数を集めた。 また、文化財としての特性を活かした体験型展示やユニークなページやSNSを活用した効果的な情報発信により、施設の認知度向上と利用促進に成果を上げている。 施設管理面においても、有形文化財としての価値に配慮しながら適切な維持管理が行われており、施設の設置目的の達成に向けた管理運営は良好であると評価する。		A				
	39	NCVふくしまパークゴルフ場（パークゴルフ場）	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	○	○	A	B	A	A	—	B	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 アンケートを踏まえた施設管理に取り組み、ホームページ等の広報や自主事業の開催、施設整備により、利用者の増加に努めた。		C				
	40	福島トヨタクラウンアリーナ（国体記念体育館）	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	○	○	A	B	A	A	—	B	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設利用者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 情報発信やアンケートによる利用者の声を踏まえた施設管理、教室の申込・受付方法の見直し等により、利用者数の増加につながった。 また、イベント開催により、地域の活性化に繋がった。		A				
	41	相撲場	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	— (職員配置なし)	○	A	C	A	A	—	C	休場等はないが、令和7年度は令和6年度に開催された大相撲荒汐部屋の福島夏合宿がなかったため利用者減少に大きく影響したと考える。令和8年度も傾向を見ていきたい。 施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 今後も引き続き、定期巡回や清掃・修繕等による適切な環境づくりや、ホームページ等の広報の実施を行い、利用者の増加に努めてほしい。		A				
	42	NCVふくしまアリーナ（福島市体育館・武道場）	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	○	○	A	A	A	A	—	A	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設利用者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 情報発信やアンケートによる利用者の声を踏まえた施設管理等に取り組み、自主事業、利用者のニーズにあった事業を展開することにより、利用者の増加に努めた。 また、イベント開催により、地域の活性化に繋がった。		A				
	43	南体育館	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	○	○	A	A	A	A	—	A	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設利用者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 アンケートを踏まえた施設管理に取り組み、ホームページ等の広報により利用者の増加に努めた。		A				
	44	東部体育館	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	○	○	A	A	A	A	—	A	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設利用者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 アンケートを踏まえた施設管理に取り組み、ホームページ等の広報により利用者の増加に努めた。		A				
	45	西部体育館	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	○	○	A	C	A	A	—	C	休館等はないが、雨漏りで令和7年度は大会利用を制限していたため、利用人数が減少したと考えられる。令和8年度も傾向を見ていきたい。 施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 今後も引き続き、適切な環境づくりや、ホームページ等の広報の実施を行い、利用者の増加に努めてほしい。		A				
	46	清沢地区体育館	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	— (職員配置なし)	○	A	C	A	B	—	C	休館等はないが、ここ2年ほど利用人数が減っている。老朽化等もあり、今までの利用者が別施設へ移っている可能性も考えられる。令和8年度も傾向を見ていきたい。 施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 今後も引き続き、定期巡回や清掃等による適切な環境づくりや、ホームページ等の広報の実施を行い、利用者の増加に努めてほしい。		C				
47	湯野地区運動場	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	— (職員配置なし)	○	A	C	A	B	—	C	休館等はないが、令和6年度の利用が例年よりも特段多かった。年によって利用人数にばらつきがある施設でもあるため、令和8年度も傾向を見ていきたい。 施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 今後も引き続き、定期巡回や清掃等による適切な環境づくりや、ホームページ等の広報の実施を行い、利用者の増加に努めてほしい。		A					
48	松川地区体育館	(公財)福島市スポーツ振興公社		○	— (職員配置なし)	○	A	C	A	B	—	C	休館等はないが、ここ3年ほど利用人数が減っている。老朽化等もあり、今までの利用者が別施設へ移っている可能性も考えられる。令和8年度も傾向を見ていきたい。 施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。 今後も引き続き、定期巡回や清掃等による適切な環境づくりや、ホームページ等の広報の実施を行い、利用者の増加に努めてほしい。		C					

所管部	No.	施設名	指定管理者名	項 目 評 価										総合評価および施設所管課講評		参考
				評価項目	(1) 施設の管理状況 [○：適正であった ×：適正でなかった]			(2) 目標値の達成状況	(3) サービスの実施状況	(4) アンケート調査等の実施状況	(5) 自主事業の実施および利用者増加のための取組状況	(6) 特筆すべき取り組み状況	すべてAの場合かつ(6)実施⇒S Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合かつ(6)実施⇒A Aが3つ以上((2)を含む)でCがない場合⇒A 全てB以上で上記以外のもの⇒B Cが1つある場合⇒C Cが2つ以上ある場合または重大な過失があった場合⇒D ※特筆すべき取り組みの実施により総合評価A～Cは、総合評価を1段階引き上げ可とする。 ただし、以下の場合は除く。 ア 評価項目(1)がC評価である場合 イ その他、総合評価を引き上げることが適当でないと認められる場合			
					①事業実施・維持管理状況	②職員体制	③法令等の遵守									
			ア：協定書、仕様書等に沿った事業を適正に行ったか。	ア：計画通り人員を配置したか。 イ：業務に関するスキルを有する職員を配置したか。	ア：施設設置条例、個人情報保護条例等、関係法令を遵守したか。	左記①②③が全て「○」の場合 ⇒A それ以外の場合 ⇒C	A：目標を大きく達成した（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の+5％を超える場合） B：目標を概ね達成した（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％～+5％の場合） C：目標を達成できなかった（目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％を下回る場合）	ア：利用者からの意見、苦情等に対応したか。（施設ハード面に対するものは除く。） イ：利用者の満足度を、アンケート調査等により把握できたか。（施設ハード面に対するものは除く。）	ア：自主事業を積極的に実施することで、利用者の増加に努めたか。	【特筆すべき取り組みの対象事例】 ①市民サービス向上の取り組み ②運営方法の工夫 ③地域貢献 ④共創の取り組み						
			イ：利用者が安全、快適に施設を利用できるよう適正に日常保守、清掃等を行ったか。	ウ：職員の資質、能力向上を図る取組みを行ったか。 エ：職員に対し適正な労働環境を保持していたか。	イ：市への報告は適時、適切に行ったか。											
市民・文化スポーツ部	61	誠電社WINDYスタジアム（信夫ヶ丘競技場）	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	○	○	A	B	A	A	—	B	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。アンケートを踏まえた施設管理に取り組み、ホームページ等の広報や自主事業の開催により、利用者の増加に努めた。 モニター委員からは、機材や芝生、施設内の手入れが丁寧にされていると評価いただいた。	A		
	62	信夫ヶ丘球場	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	○	○	A	A	A	B	—	A	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。アンケートを踏まえた施設管理に取り組み、ホームページ等の広報や自主事業の開催により、利用者の増加に努めた。 モニター委員からは、グラウンド整備、芝生の手入れが丁寧にされていると評価いただいた。	C		
	63	荒川運動公園運動施設・レクリエーション施設	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	— （職員配置なし）	○	A	B	A	B	—	B	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。定期巡回やグラウンド整備等による適切な環境づくりや、施設予約システムにより、利用者の増加に努めた。	A		
	64	須川運動公園運動施設・レクリエーション施設	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	— （職員配置なし）	○	A	B	A	B	—	B	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。今後も引き続き定期巡回やグラウンド整備等による適切な環境づくりや、施設予約システムの活用により、利用者の増加に努めてほしい。	B		
	65	松川運動公園運動施設・レクリエーション施設	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	— （職員配置なし）	○	A	C	A	B	—	C	休場等はないが、令和7年度は大会等の件数が減少したことにより、利用人数が減少した。令和8年度も傾向を見ていきたい。 施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。今後も引き続き、定期巡回やグラウンド整備等による適切な環境づくりや、施設予約システムの活用により、利用者の増加に努めてほしい。	A		
	66	信夫ヶ丘総合運動公園運動施設・レクリエーション施設	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	— （職員配置なし）	○	A	A	A	B	—	A	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。定期巡回やグラウンド整備等による適切な環境づくりや、施設予約システムの活用により、利用者の増加に努めた。	C		
	67	蓬萊中央公園運動施設・レクリエーション施設	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	— （職員配置なし）	○	A	C	A	B	—	C	休場等はないが、令和6年度から利用者が減少している。施設周辺に住宅地があり、野球等に利用制限があり、決まった団体が利用しているため利用人数が伸び悩んでいると考えられる。来年度も傾向を見ていきたい。 施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。今後も引き続き定期巡回やグラウンド整備等による適切な環境づくりや、施設予約システムの活用により、利用者の増加に努めてほしい。	C		
	68	森合運動公園多目的広場	（公財）福島市スポーツ振興公社	○	— （職員配置なし）	○	A	— （設定なし）	— （設定なし）	B	—	B	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設管理者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。定期巡回や広場の整備等による適切な環境づくりや、ホームページ等の広報、自主事業の開催により、利用者の増加に努めた。	B		
69	クレー射撃場	福島市クレー射撃場運営協議会	○	○	○	A	A	A	B	A	—	A	施設の管理状況は適正であり、法令・条例を遵守し、施設利用者の安全と快適な管理・運営を心掛けている。今後も引き続き、利用者の要望苦情に適切に対応し、安全安心な施設管理に取り組み、自主事業の開催により利用者の増加に努めてほしい。	B		
環境部	70	ヘルシーランド福島	（公財）福島市振興公社	○	○	○	A	C	B	A	A	○	B	昨年度に続き臨時休館が多くなったが、利用者の安全を重視した主体的な施設管理や、公式LINEの立ち上げ・情報発信、多様な自主事業の実施により、利用者の拡大や満足度の向上に努めた姿勢は評価できる。 また、目標値には達しなかったものの、臨時休館の影響がある中でも前年度を上回る利用人数の確保に努めた点は評価できる。	D	
健康福祉部	71	身体障がい者福祉センター腰の浜会館	（社福）福島市社会福祉協議会	○	○	○	A	A	B	A	B	—	A	R7年度は外壁改修工事、非常用照明のLED化を行い、利用者が安心・安全に施設利用できる環境づくりができた。また、写真・作品展等の自主事業は広報活動の成果で多くの来場者数につながった。 昨年度と比較して施設利用者数が減少したことを受け、今後はSNSを活用した情報発信にさらに力を入れ、若年層を中心に施設の利用の存在や活動内容の認知に繋がり、施設利用を促すような活動を続けてほしい。	A	
	72	わたりふれあいセンター	（社福）福島福祉施設協会	○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	老人福祉センターやヘルシーランドの休館により利用者が増加する中、施設の特徴を活かした世代間交流の場を継続的に提供した。 また要望の高いカラオケクラブの開催や、季節行事の自主事業を積極的に展開するなど利用者の満足度向上に務めた。 今後もアンケート調査等により利用者のニーズを適切に把握し、イベントの開催や、SNS等も活用した広報活動を通して安定的な利用者の確保と、新規利用者拡大に努めてほしい。	A	
	73	中央デイサービスセンター	（社福）福島市社会福祉協議会	○	○	○	A	C	B	B	—	C	令和6年度に市営中央団地が廃止された影響が回復されていない状況が続いているが、年間を通して新規利用者の確保に努めている点は評価できる。 新規レクリエーションの実施など、利用者増加に向けた取組を継続し、利用者増加に努めていただきたい。	C		

所管部	No.	施設名	指定管理者名	項 目 評 価										総合評価および施設所管課講評			参考
				評価項目	（１）施設の管理状況　【　○：適正であった　×：適正でなかった　】			左記①②③が 全て「○」の場合　⇒A それ以外の場合　⇒C	（２）目標値の達成状況 A：目標を大きく達成した （目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の+5％を超える場合） B：目標を概ね達成した （目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％～+5％の場合） C：目標を達成できなかった （目標値を数値で示せる場合は実績値が目標値の-3％を下回る場合）	（３）サービスの実施状況	（４）アンケート調査等の実施状況 ア：利用者からの意見、苦情等に適切に対応したか。 （施設ハード面に対するものは除く。） イ：利用者の満足度を、アンケート調査等により把握できたか。 （施設ハード面に対するものは除く。）	（５）自主事業の実施および利用者増加のための取組状況 ア：自主事業を積極的に実施することで、利用者の増加に努めたか。 イ：広報活動等により、利用者の増加に努めたか。	（６）特筆すべき取り組み状況 【特筆すべき取り組みの対象事例】 ①市民サービス向上の取り組み ②運営方法の工夫 ③地域貢献 ④共創の取り組み	すべてAの場合かつ（６）実施⇒S Aが3つ以上（（２）を含む）でCがない場合かつ（６）実施⇒A Aが3つ以上（（２）を含む）でCがない場合⇒A 全てB以上で上記以外のもの⇒B Cが1つある場合⇒C Cが2つ以上ある場合または重大な過失があった場合⇒D ※特筆すべき取り組みの実施により総合評価A～Cは、総合評価を1段階引き上げ可とする。 ただし、以下の場合は除く。 ア　評価項目（１）がC評価である場合 イ　その他、総合評価を引き上げることが適当でないと思われる場合			
					①事業実施・維持管理状況	②職員体制	③法令等の遵守										
					評価基準	ア：協定書、仕様書等に沿った事業を適正に行ったか。 イ：利用者が安全、快適に施設を利用できるよう適正に日常保守、清掃等を行ったか。	ア：計画通り人員を配置したか。 イ：業務に関するスキルを有する職員を配置したか。 ウ：職員の資質、能力向上を図る取組みを行ったか。 エ：職員に対し適正な労働環境を保持していたか。								ア：施設設置条例、個人情報保護条例等、関係法令を遵守したか。 イ：市への報告は適時、適切に行ったか。		
健康福祉部	74	春日町デイサービスセンター	（社福）創世福祉事業団	○	○	○	A	A	A	A	○	S	自立支援と在宅生活の継続援助や利用者支援に対する研修を行う等、利用者や家族それぞれに配慮した取り組みが見られた。また、業務継続計画の見直し・研修の実施により、近年多発化する災害に対応した取り組みを実施している。 令和7年度は、新たにICT導入により、利用者負担軽減や職員の業務効率化を図ることができた。 今後も自主事業への取り組みや、利用者・家族等への丁寧な支援に取り組みながら、目標値の達成に努めていただきたい。	A			
	75	南沢又デイサービスセンター	（社福）すこやか福祉会	○	○	○	A	C	A	A	—	C	コロナ禍の利用控え等により起因する身体レベルの低下や認知症の進行により在宅生活が困難となった利用者等が、入所系サービスを利用するようになり、利用者数が減少した。 目標値の達成には至っていないが、利用者数の増加に向け、利用者ニーズに対し柔軟な対応や、サービス提供の目的を意識しながら事業運営を図っている。 引き続き、多様な利用時間の選択肢を設定しながら、新規利用者増加に努めていただきたい。	C			
	76	飯野デイサービスセンター	（社福）福島市社会福祉協議会	○	○	○	A	A	A	B	A	—	A	前年度から継続して高い利用率となった。ボランティア等の受け入れにより、利用者以外との交流が図られた。今後も利用者数を維持できるよう、自主事業の取組に努めていただきたい。	A		
	77	飯野地域福祉センター	（社福）福島市社会福祉協議会	○	○	○	A	C	B	B	B	—	C	昨年度と比較し、利用人数に増加は見られたが、利用団体数が減少となった。 団体紹介や環境整備を実施することで、地域との協働や活性化につながる取り組みである。 多くの団体から利用してもらえよう、施設外に向けた広報等の取組に努めていただきたい。	C		
こども未来部	78	ふくしま児童公園SFCももりんパーク（児童公園）	エスエフシー（株）	○	○	○	A	C	A	A	—	C	利用人数は、大型遊具の故障や点検による長期停止がなかったことや、暖冬の影響により冬季の利用者数が伸びたことが影響し、昨年度よりも増加したが、土日の天候不良や夏の酷暑の影響を強く受け、目標値には達しなかった。 少子化が進んでいるものの、令和8年度は5月末時点で前年同時期と比較して増加しており、天候によっては十分達成可能な数であると考えている。新たに設置したお絵描きボードや写真スポットを活用した魅力発信を継続し、新規利用者の獲得とリピーター満足度の向上に努めていただきたい。 また、利用者の安全確保については、必要な修繕や点検を適切に実施し、猛暑の際や夏休み期間にはテントやミストシャワーを設置するなど、安全・安心な利用環境の維持に引き続き努めていただきたい。	C			
	79	渡利児童センター	（社福）福島福祉施設協会	○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	自主事業について、ひな祭り、団子さしといった季節行事など、児童と高齢者が一緒に参加できるイベントを企画している。 当該施設は、高齢者を対象とするふれあいセンターと合築施設で、児童と高齢者との間に自然に交流が生まれる施設である。本年度については、ふれあい時間を週に一度開催することで、世代間交流の機会創出や利用者の増加につながった。 幅広い年代の方と交流できることは、児童の育ちにプラスとなるため、継続して実施するように働きかけたい。	A		
	80	蓬萊児童センター	（社福）福島福祉施設協会	○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	様々な分野の自主事業の実施や、乳幼児・上級生（小学校高学年）に向けた活動の開催など、全ての利用対象児童が施設利用を通して交流できるような取り組みを行っている。 これによって、0～18歳の世代間交流や、ボランティアで地域の方に参加してもらうなど、地域交流も盛んに行われていることは高く評価できる。 また、広報活動についても積極的にしており、Instagramを利用するなど、今の子育て世代に向けた情報発信の工夫が見られた。	A		
	81	清水児童センター	（社福）福島福祉施設協会	○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	地域のニーズが高いため、児童を班分けし、遊戯室や図書室をローテーション利用や、一箇所に児童が集まらないようにすることで、安全性や快適性を確保している。 また、積極的な各種事業の実施や、アンケート調査を行うこと等により、利用者の満足度の向上を図っている。今年度は地域の関係機関との関係維持・強化を行うことで、地域児童の福祉課題の解決、家庭支援を図った。 引き続き、地域のニーズは高い状況が想定されるため、まずは利用する児童の安全性を確保しながら、当該施設での生活を通して、情操が育まれるような運営を期待したい。	A		
都市政策部	82	御倉邸（御倉町地区公園）	特定非営利活動法人御倉町かいわいまちづくり協議会	○	○	○	A	A	B	A	A	—	A	常日頃から邸内の清掃や庭園の維持管理など良好な環境づくりに努めるだけでなく、事業を例年以上に実施することやSNS等を使った継続的な広報により、利用者の増加に努めた。 結果として、利用者人数は昨年度比で2,611名増（13％増）となる実績に繋がった。	AA		
	83	市営住宅等	（株）トーネット	○	○	○	A	C	B	A	A	○	B	新規入居者は、令和6年度と比べて6世帯の減となったが、定期募集の回数や募集戸数を増やし、新規入居者の確保に努めていた。 指定管理者制度を導入して初年度ということもあり、一部不慣れな点もあったが、大きな問題もなく、研修等を重ね適切に運営を行っていた。通常の住宅管理業務にとどまらず、会社の強みを活かした運営が行われ、今後の事業の発展や業務改善も期待できる。	新規		
教育委員会	84	立子山自然の家	エスエフシー（株）	○	○	○	A	A	A	A	B	—	A	利用者との密なコミュニケーションを図りながら、貸館業務との調整を行い、趣向を凝らした新規企画を展開することで、効率的な施設運営を実現したことが利用者数の増加に繋がり、利用者数及び利用団体数ともに目標値を上回る結果となった。 日々の施設管理やサービスの点も適正に実施され、利用者アンケートの結果も好評である。 次年度以降は、積極的な広報活動を実施することで、さらなる利用者の増加を期待する。	A		
	85	こむこむ館	（公財）福島市振興公社	○	○	○	A	A	A	A	A	—	A	長期の改修工事中も安全を最優先に確保し、目標値である来館者数を大きく達成した。事業面では開館20周年事業や新規事業「ふくしま博士」、大勢の方が来場した「ミニ水族館」、「福島キッズ はたらくクルマ大集合!!」など、地域特性を捉えた多彩な自主事業を展開した。加えて館長自らのSNS動画配信など効果的な広報で認知度向上に大きく寄与した。これらは、創意工夫に満ちた適切な運営であり高く評価する。 また、モニター委員からは子どもの夢を育む場としての役割に加え、地域交流や中心市街地のまちづくりの拠点としての可能性を積極的に追求しようとする姿勢などが高く評価された。今後はこれらの取り組みをさらに深化させ、他施設の模範となるような特筆的取り組みの実施を期待する。	S		